

新規需要米向け多収性水稻品種に対する4-HPPD阻害型除草剤による薬害について

近年、全国的に作付面積が急速に拡大している新規需要米向けの一部の多収性水稻品種では、4-HPPD阻害型除草剤に強い感受性を示し、激しい薬害症状により枯死に至る場合があることが報告されている（渡邊ら、2010）。

したがって、感受性を有することが判明している、次に示す飼料用米向け品種に対して、4-HPPD阻害型除草剤を有効成分として含む除草剤を使用しないよう徹底する必要がある。

1 4-HPPD阻害型除草剤に感受性を有する飼料用米向け品種

みなちから、モミロマン、ミズホチカラ

2 4-HPPD阻害型除草剤（有効成分名）

ベンゾピシクロン、メソトリオン、テフリルトリオン

3 参考文献

- (1) 渡邊寛明・小荒井晃・橘雅明・川名義明・赤坂舞子・加藤浩 2010. 飼料用イネや米粉等の新規需要米向け多収水稻品種の4-HPPD阻害型水稻除草剤に対する感受性. 日作紀79(別1)
- (2) 渡邊寛明・小荒井晃・橘雅明・川名義明・赤坂舞子・加藤浩 2010. 新規需要米向け水稻品種の4-HPPD阻害型除草剤に対する感受性. 平成21年度関東東海北陸農業研究成果情報
- (3) 米とワラの多収を目指して2017-飼料用米、稲発酵粗飼料用品種-、農業・食品産業技術総合研究機構 次世代作物開発研究センター
- (4) 様々な用途に向くお米の品種シリーズ 2020、農業・食品産業技術総合研究機構 次世代作物開発研究センター
- (5) 前田英郎、村田和優(富山県農技セ)、川田元滋、大島正弘、吉田均、廣瀬咲子、川岸万紀子、谷口洋二郎、山田祐司(SDS バイオテック)、関野景介(SDS バイオテック)、山崎明彦(SDS バイオテック)、安東郁男、加藤浩 2016. 4-HPPD 阻害型除草剤感受性を判別する分子マーカー. 中央農業研究センター成果情報
- (6) 石井卓朗、佐藤宏之、後藤明俊、黒木慎、松原一樹、鈴木啓太郎、山口誠之、春原嘉弘、加藤浩、安東郁男、根本博、小林伸哉、平林秀介、竹内善信、常松浩史、太田久稔、前田英郎、池ヶ谷智仁、津田直人、田中淳一 2017. 多収・良質で中生熟期の業務・加工用水稻新品種「えみだわら」. 次世代作物開発研究センター成果情報
- (7) 杉浦和彦 加藤満 伊藤晃 中村充 城田雅毅 船生岳人 加藤恭宏 中嶋泰則 野々山利博 2016年12月. 米麵用品種「愛知125号」の育成 愛知県農業総合試験場研究報告